

新規事業採択時評価結果（平成30年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：村山 一弥

事業の概要

事業名	地域高規格道路 五條新宮道路 一般国道168号 新天辻工区	事業区分	一般国道	事業主体	奈良県
起終点	自：奈良県五條市大塔町阪本 至：奈良県五條市西吉野町阪巻		延長	7.2 km	
事業概要	<p>五條新宮道路は奈良県五條市と和歌山県新宮市を結び、南和地域集積圏と新宮地域集積圏の連携を強化する紀伊半島の核となる南北の幹線道路であり、延長約130 kmの地域高規格道路である。</p> <p>一般国道168号 新天辻工区は、五條新宮道路の一部区間として計画されており、五條市大塔町阪本を起点、五條市西吉野町阪巻を終点とする延長7.2 kmの路線である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>一般国道168号 新天辻工区は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイパス整備により災害危険箇所を回避し、第1次緊急輸送道路の機能を強化</li> <li>・信頼性の高いアクセスルートの確保により十津川温泉などの観光振興に寄与</li> <li>・第二次医療施設「南奈良総合医療センター」への輸送時間の短縮や安静搬送により、患者の負担を軽減</li> <li>・奈良県北部地域への通勤通学等、沿線住民の日常生活における移動を支援に資する道路である。</li> </ul>				
全体事業費	約221億円	計画交通量	約3,900 台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見  
奈良県、和歌山県、三重県の地元自治体4市4町3村で構成する「国道168号（五條・新宮間）整備促進協議会」より、五條新宮道路の早期整備を要望されている。

学識者等の第三者委員会の意見  
—

事業採択の前提条件  
費用対便益：便益が費用を上回っている。  
沿線自治体から早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.2	総費用：166億円 （事業費：166億円 維持管理費：0.89億円）	総便益：206億円 （走行時間短縮便益：171億円 走行費用減少便益：35億円 交通事故減少便益：0.27億円）	基準年 平成29年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.4 (交通量 +10%)	B/C=1.1 (交通量 -10%)		
		事業費変動	B/C=1.1 (事業費 +10%)	B/C=1.4 (事業費 -10%)		
		事業期間変動	B/C=1.1 (事業期間 +20%)	B/C=1.3 (事業期間 -20%)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—	注目すべき影響はない。		
		事故対策	—	注目すべき影響はない。		
		歩行空間	—	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	○	第二次医療施設への輸送時間の短縮や安静搬送。		
		地域経済	○	信頼性の高いアクセスルートの確保により十津川温泉などの観光振興に寄与。		
		災害	◎	バイパス整備により災害危険箇所を回避し、第1次緊急輸送道路の機能を強化。		
		環境	—	注目すべき影響はない。		
		地域社会	○	奈良県北部地域への通勤通学等、沿線住民の日常生活における移動を支援。		
	事業実施環境	◎	奈良県、和歌山県、三重県の地元自治体4市4町3村で構成する「国道168号（五條・新宮間）整備促進協議会」より、五條新宮道路の早期整備を要望されている。			

採択の理由

事業主体である奈良県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.2と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、緊急輸送道路の機能強化、高次医療施設へのアクセス向上、観光振興への寄与など、当該事業の必要性、効果は高いものと判断される。  
以上により、本事業は平成30年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。